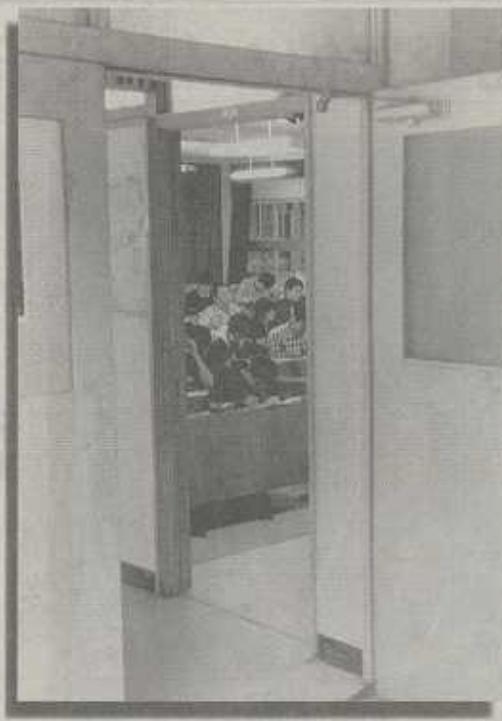


# 九大三景

六本松 箱崎 伊都

▷3△



多くの学生を見守ってきた教室

大学と街があつての六本松。その全体的な雰囲気を伝えることはできたかな」と振り返る。

◇ 工学部がすでに移った伊都キャンパスは、設備が新しすぎてもう一度、田舎から都会に出てきたみたい」と笑う。そして、「新しさで困ったことに暗室がない」という。写真を



## 撮りためた“福岡”的写真

「僕にとって福岡といえはここ（六本松）なんです。移転前に何かしたかった」

今春で閉じる六本松キャンバスで最後の開催となった昨秋の大学祭。写真部の高木竜太さん（22）＝工学部3年＝は部員たちと撮りた

めた地区の写真約15枚を展示した。

校舎や学生たちの姿は、焼くために六本松や箱崎に通い続けたためをかいた。

もろん、うどん屋、居酒屋もない。「伊都是研究施設であつて学校という感じがしない」。だからこそ今後は伊都キャンバスに

【徳野】

区。学外の人との交流も少なく、行きつけの居酒屋もない。「伊都是研究施設であつて学校という感じがしない」。だからこそ今後は伊都キャンバスに

見えないものもあると思うから」。成長する街を記録したい。



他の写真はいずれも高木さんの作品



カメラを手にする高木竜太さん＝徳野仁子撮影。

校舎の上から

撮影電話の普及で書きき地へ化した伝説版。

【伊都を盛り上げんといこう】